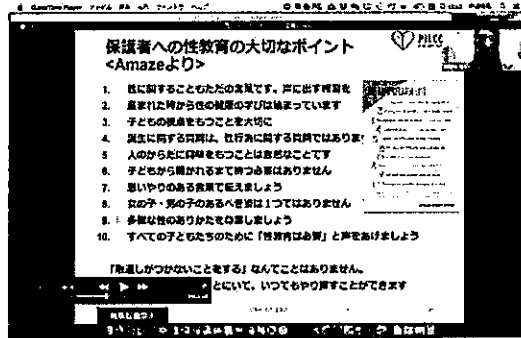


## 《桜セミナー通信》

### 性教育 家庭でどう伝える？ 知っておきたい、子どもへの性の伝え方



11月28日土曜日、NPO法人ビルコンの染矢明日香さんをお招きし、桜セミナーでは初のオンラインセミナーを開催しました。ありがたいことに、例年になく大勢（100名ほど）のお申し込みをいただき、ほとんどの方がZOOMで視聴されました。初オンラインセミナーということで、委員が一丸となり、講演の成功に向けて準備を重ねましたが、こうして好評に終わり、ほっとしています。

#### ◆性教育を学び直そう！

染矢さんは、「近年、ネットの普及で便利な世の中になりましたが、同時に偏った性への情報があふれかえり、子どもでも簡単に性に関する動画などを見ることができるようになりました。それを単に悪とはせず、保護者が正しい性教育を子どもに伝えるべきではないでしょうか」と言います。

さらに「日本ではむかしから性教育は必要最低限の知識以外、タブー扱いされがちです。そして大事な内容は友だちや先輩など、同世代から得るというアンケート結果もあります。一方で最近、アフターピルが薬局で買えるようになるという政策がニュースになりました」というお話もありました。

これを機に「性教育の見直しをし、子どもたちを守るためにも正しい性教育を学ぼう」というのが、今回のセミナー趣旨でした。

#### ◆子どもへ性を語りかけるポイントは・・・



##### 《プライベートゾーンのルール》

プライベートゾーンとは、水着で隠れた場所です。汚いところ、恥ずかしいところなのではなく、あなたの大事なところです。自分や他人のプライベートゾーンを勝手に見せたり、さわらせてはいけません。

参考動画：PANTS(全英児童虐待防止協会)

#### ◆命の誕生や性の話の伝え方・・・

大事なのは家庭での会話の積み重ねです。「なんでそんなことを聞くの!？」などと拒否や否定をすることなく、「どうしてそう思ったのかな？」など、子どもの疑問に寄り添い、子どもが理解できる言葉で、科学的に伝えましょう（絵本や書籍などの活用もおすすめ）。

性のことを安心して話せる親子関係でいられるのが理想ですね。

●おすすめの本

《絵本》

- ・『コウノトリがはこんだんじゃないよ!』(ロビー・H・ハリスら著)
- ・『あかちゃんはどうやってつくられるの?』(アンナ・フィスケラ著)

《書籍》

- ・『あっ! そうなんだ! 性と生 幼児・小学生そしておとなへ』(浅井春夫ら著)
- ・『親子で話そう! 性教育』(浅井春夫、良香織著)

●参考情報もあります

ピルコン 保護者向け性教育の情報

<https://pilcon.org/help-line/parents>

性教育アニメ動画

<https://pilcon.org/activities/amaze>

命育(保護者向け性教育の情報サイト)

<https://meiiku.com/>

セイシル(中高生向け)

<https://seicil.com/>

東京都都民安全推進本部こたエール

<https://www.tokyohelpdesk.metro.tokyo.lg.jp/>

※リンク先は桜小HPにてご覧ください。

《桜セミナー アンケート結果》

◆講演内容についての満足度	
不満	0.0%
やや不満	1.6%
普通	8.1%
やや満足	25.8%
満足	64.5%

◆講演会にどのように参加しましたか	
当日、ZOOMでオンライン参加	82.3%
後日、YOUTUBEで動画を視聴	6.5%
桜小学校でモニター視聴(関係者含む)	16.1%

◆ZOOMでの開催形式の満足度	
不満	0.0%
やや不満	0.0%
普通	1.6%
やや満足	12.9%
満足	85.5%

●講演の感想の中から

《単なる性教育ということではなく、子どもとの接し方を見直すきっかけになりました。》

《知りたいと思いつながら、なかなか知る機会のないテーマで、とても勉強になりました。》

《染矢先生のお母様とのエピソードがとても心に響きました。子どもの一番の味方でありたいと、今一度思いました。》

●桜セミナーオンライン講演会の開催方法・運営について

《ZOOMの参加だったので、自宅にいた父親も講演会を聞くことができよかったです。》

《当日視聴できなかつたり、聞き逃しても、再視聴できるのは非常にありがたかったです。》

《初めてのオンライン講習会とは思えないクオリティーで、満足でした。》

《幼児がいるので、家で講演を聞くことができ、とても助かりました。》

◆おわりに

染矢さんの思いやりにあふれた講演で、素晴らしい活動をされているのだと思いました。また、性の情報がこれだけ氾濫しているからこそ、自分の子どもは自分で守らねばという想いも新たにしました。

ご自身の経験から、このような教育が欠かせないと考えられるようになったということ、性教育は避妊や感染症のみならず、生命の教育であり、自分はもちろん相手を思いやる、大事な学びであるということがひしひしと伝わってきました。

そして、子どもとの接し方を見直すきっかけを与えてもらえたとも感じています。

染矢さんのお母様がいかに染矢さんを信頼し、応援していたか——そのようなことも感じさせてくれる素晴らしい時間でした。

私たちも、子どもの窮地に勇気を与える親になればいいですね。

ご参加くださったみなさま、本当にありがとうございました!